

施策評価シート

施策番号【3-1】

評価年度	令和3年度	事業実施年度	令和2年度	施策主管次長名	小野田 浩 司
施策番号	3-1	施策名	地域で支え合い、災害に強いまちをつくらう	総合計画掲載頁	100~103
主担当部名	総務部				
関連課名	防災安全課、都市計画課				

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL (中間値と最終目標値の確認)

取組分野	防災・減災	R5 中間値	R10 目標値
指標名	防災訓練への参加率		
指標の定義	コミュニティ地区や公共施設などで実施される防災訓練への参加率	20%	25%
取組分野	消防	R5 中間値	R10 目標値
指標名	市内での火災出動件数		
指標の定義	1年間の市内での火災出動件数	20件以下	16件以下
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野		R5 中間値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN (実績を計上し計画値を再設定)

指標①	取組分野1 防災・減災		単位	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名	防災に関するイベントや講座などの開催回数	回	42	13	43	44	44
対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の防災意識の高揚を図るため、防災に関するイベントや講座などを開催する。					
		把握方法	一般市民や子供たちを対象として開催した防災に関するイベントや講座などの回数					

指標②	取組分野2 消防		単位	R1実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名	火災予防に関する街頭啓発、防火パトロールなどの実施回数	回	79	57	80	81	81
対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防に関する街頭啓発、防火パトロールなどを実施する。					
		把握方法	市内で実施した火災予防に関する街頭啓発、防火パトロールなどの回数					

指標③			単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名							
対象		指標設定の考え方						
		把握方法						

指標④			単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名							
対象		指標設定の考え方						
		把握方法						

指標⑤			単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	成果指標名							
対象		指標設定の考え方						
		把握方法						

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析 (現状の確認と近隣調査)					
施策の現状	<ul style="list-style-type: none"> 防災では、以前から地域住民による自主防災組織が、安否確認、避難訓練等を組織的に実施してきた。最近、いくつかの自主防災会が集まりコミュニティ単位での訓練を実施しており、参加者は増加傾向にあるが、現在は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、安否確認訓練のみとするなど、内容を限定的にしている。 防火については、定期的に消防団等による防火啓発に取り組んでおり、火災発生件数はその年により流動的ではあるが減少傾向にある。 				
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	<table border="1"> <tr> <td>市民</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や防災講座などに参加し、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」の意識を高め、地域の防災力を高める。 自発的な火災予防に取り組み、防火意識を高める。 </td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 市民への防災意識の向上、自主防災会組織への支援など、地域防災力が向上するための施策を実施する。 避難所の指定、防災行政無線などの施設整備、防災備蓄品の計画的な配置をする。 常備消防である尾三消防組合を近隣4市町と協力し組織する。 自主防災組織等がコロナ禍でも開催できる防災訓練内容の提案を行っていく。 </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や防災講座などに参加し、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」の意識を高め、地域の防災力を高める。 自発的な火災予防に取り組み、防火意識を高める。 	行政	<ul style="list-style-type: none"> 市民への防災意識の向上、自主防災会組織への支援など、地域防災力が向上するための施策を実施する。 避難所の指定、防災行政無線などの施設整備、防災備蓄品の計画的な配置をする。 常備消防である尾三消防組合を近隣4市町と協力し組織する。 自主防災組織等がコロナ禍でも開催できる防災訓練内容の提案を行っていく。
市民	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や防災講座などに参加し、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」の意識を高め、地域の防災力を高める。 自発的な火災予防に取り組み、防火意識を高める。 				
行政	<ul style="list-style-type: none"> 市民への防災意識の向上、自主防災会組織への支援など、地域防災力が向上するための施策を実施する。 避難所の指定、防災行政無線などの施設整備、防災備蓄品の計画的な配置をする。 常備消防である尾三消防組合を近隣4市町と協力し組織する。 自主防災組織等がコロナ禍でも開催できる防災訓練内容の提案を行っていく。 				
近隣市町との比較	<ul style="list-style-type: none"> 人口規模や地域性もあり比較できないが、近隣市町において、防災訓練など住民の防災意識の向上を図る取組はそれぞれ実施している。 消防団員は他市町より人口に対する割合が大きく、年齢も若いため効果的な活動が展開できる。 				

施策の評価 (活動の振り返りと課題の明確化)	
令和元年度以前の活動	<ul style="list-style-type: none"> 防災では各コミュニティ単位での防災訓練において、安否確認訓練及び避難訓練等を実施した。 防災講演会、防災リーダー養成講座、防災ワークショップなどの講座等を開催した。 中学生の提言を防災・減災対策に反映させるため、「中学生防災パネルディスカッション」を開催した。 名古屋大学減災連携研究センターの受託研究員が、防災に対する意識を高めるHUG訓練等の活用について学んできたことを防災訓練で実施した。 消防防災を含んだ枠組みで、商業施設において「安心安全フェスタ」を開催した。
令和2年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 防災では、各行政区単位での防災訓練として安否確認訓練を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した避難所開設・運営訓練を3回行った。 ボランティアセンター開設運営訓練を行った。 防火啓発活動として消防団による火災予防パトロールを行った。
積み残し課題等	<ul style="list-style-type: none"> 自助・共助の意識をより高めていく必要がある。 新型コロナウイルス感染症の感染防止に対応した避難所開設・運営訓練を継続して実施する必要がある。 名古屋大学減災連携研究センターにおいて受託研究員が行った、防災訓練等における課題の研究結果を訓練に活かしていく必要がある。 消防団員数が減少傾向にあり、加入を促進する施策が必要である。 消防団員の処遇について消防庁から基準が示され、市消防団の処遇について見直す必要がある。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和3年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災に向けた自助・共助の推進を強化するため、自主防災会をはじめとする市民の防災意識を高める必要がある。 消防については、引き続き地道な防火啓発活動を続け、消防団、尾三消防本部と行政が連携し、一体となって活動していく必要がある。 地域防災・消防の担い手の消防団員の処遇改善、加入促進を行っていく必要がある。
施策目標達成に向けての令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 防災に関する講座等を引き続き実施していく。 新型コロナウイルス感染症の感染防止に対応した避難所運営訓練を自主防災会と協力して実施する。 消防団を中心に、防火啓発活動を実施していく。 消防団員確保のための消防団PR動画を作成し、ケーブルテレビ、ホームページ、SNSを経由して情報発信していく。 消防団員の処遇改善のため、報酬について検討していく。